

げいび清流米ご活用の皆様へ 年間定期購入ありがとうございました。 **新米** 収穫感謝！

稲刈り終了。 9月17日に開始した稲刈りも比較的順調に進み、10月10日に無事終了しました。今年は収穫機（コンバイン）を新調したこともあって作業能率が上がったようです。作柄については、概ね豊作となりましたが、周囲の兼業農家さんは、稲の大敵イモチ病やカメムシ被害、加えて倒伏等によって著しく減収や品質低下が見られました。従って地域的に見れば平年以下の作柄になっています。道すがら青畳を敷き詰めたように倒伏した田んぼや病気の蔓延によって茶色に変色した田んぼを多く見かけることとしますが、大方の兼業農家さんは省力的な栽培のあまり、気候変動による生育コントロールができない栽培スタイルを行って、生育や気象条件により肥料を調整し生育するのに必要な肥料成分や量は決まっていますが、殆どの農家は田植え前にその必要量を一度に与えながら与えるのがベストなのですが、殆どの農家は田植え前にその必要量を一度に与えてしまいます。従って近年の気候変動による生育変化に対応できず病気や稲の倒伏と言った事態になるのです。ただカメムシ被害だけは難しくなってきました。穂が出始めたところに糞の養分をカメムシが吸って出来る食痕が精米後も米粒に黒く残るため厄介になります。機械的にある程度の選別は可能ですが、たまに混入することもあります。勿論食べても全く問題ありませんが、米の検査等級を下げるので農家からは大いに嫌われています。実は我が家でも悩みの種になっています。通常このカメムシを防除するために二度の殺虫剤を空中散布するのですが、我が家は一度しか行っていません。しかも周囲への配慮から地上防除を続けています。空中防除より人手と労力がかかるため、高齢化が進む地方では空中防除に頼らざるを得ないのが実情です。春の種まきから悲喜こもごも、紆余曲折へて皆様の大切ないのちの稔りをお届けすることができました。どうぞ2020年新米をご賞味ください。



豊穰の稔り

通常稲が生息条件により肥料を調整し生育するのに必要な肥料成分や量は決まっていますが、殆どの農家は田植え前にその必要量を一度に与えながら与えるのがベストなのですが、殆どの農家は田植え前にその必要量を一度に与えてしまいます。従って近年の気候変動による生育変化に対応できず病気や稲の倒伏と言った事態になるのです。ただカメムシ被害だけは難しくなってきました。穂が出始めたところに糞の養分をカメムシが吸って出来る食痕が精米後も米粒に黒く残るため厄介になります。機械的にある程度の選別は可能ですが、たまに混入することもあります。勿論食べても全く問題ありませんが、米の検査等級を下げるので農家からは大いに嫌われています。実は我が家でも悩みの種になっています。通常このカメムシを防除するために二度の殺虫剤を空中散布するのですが、我が家は一度しか行っていません。しかも周囲への配慮から地上防除を続けています。空中防除より人手と労力がかかるため、高齢化が進む地方では空中防除に頼らざるを得ないのが実情です。春の種まきから悲喜こもごも、紆余曲折へて皆様の大切ないのちの稔りをお届けすることができました。どうぞ2020年新米をご賞味ください。

宅配送料無料で！キャンペーン

今月の定期発送より年内発送のお米の **宅配料金を無料** にするキャンペーンを行います。従って、ご請求はお米の本体価格（2,500円/税込み）のみとなります。尚、期間中定期購入割引（100円/5kg）は中止いたします。

※80サイズ（5kg×2袋）以上のお荷物は複数個になる場合がございます。

※このキャンペーンはコロナ経済対策の補助金を利用していますので、期間中でも財源が無くなり次第終了しますのでご了承ください。

日頃お世話になっているあなたに「げいび清流米」を贈られては如何でしょうか。今なら宅配送料無料キャンペーンを利用できます。 **2,500円/5kg**（税込）にてお届け致します。お申込は専用ハガキ（切手不要）若しくは振込用紙通信欄に相手方住所、氏名、電話番号、数量を明記の上お申し込み下さい。

11月の発送日は20日です。(毎月第三金曜日)

エゴマの収穫 エゴマの刈りとりを行いました。昨年は台風による脱粒と病気により著しく減収しました。エゴマは収穫の適期が短くタイミングを逸すると大きく収量に影響します。田んぼの作業も終わらない中、急いで収穫に取りかかりました。鎌で刈り取ったエゴマを束ねて数日天日干しします。頃合いを見計らい、一束一束叩いて脱穀し、その後も色々な作業工程を経て搾油へと進みます。エゴマ油は大変な手間暇が掛かる貴重な油です。




83歳の母もまだまだ現役です！

お問い合わせ先

〒029-0301 岩手県一関市東山町田河津字田の萱 58
フリーダイヤル 0120-81-4153

FAX 0191-47-2769

Eメール okome@81-4153.com

 <http://www.facebook.com/soji.sato>

生産者ホームページ <http://81-4153.com>

合同会社 田舎モノ 代表社員 佐藤 想司

※日中は農作業のため留守電が応対します。ご用件をお話頂き、不明な場合はこちらよりご連絡いたします。